

出題の意図

入試年度	令和7年度
学部	看護学部
選抜区分	推薦/社会人
教科/科目	英語
出題の意図	<p>■ 出題の意図</p> <p>本試験で評価の対象とする英語力とは、高等学校までの学習内容を基盤として、語彙・文法・音声に関する基礎的知識を適切に運用しながら、文章の内容を的確に理解し、文脈に即して適切に判断するとともに、自身の考えを英語で表現できる力を指す。本試験では、知識の有無のみを問うのではなく、読解力、思考力、判断力、および表現力を総合的にみることを目的として設問を構成している。</p> <p>第1問（発音・アクセント）</p> <p>本設問は、語彙に関する基礎的知識の一部として、英語の音声的特徴に対する理解を評価することを目的としている。発音および語強勢に関する基本的知識を測定対象とした。</p> <p>第2問（語彙・文法）</p> <p>本設問は、語彙および文法に関する基礎的知識の理解と運用能力を評価することを目的としている。単なる知識の確認ではなく、日常生活や健康・学習場面に関わる文脈に基づいて適切な選択ができる判断力を測定対象とした。</p> <p>第3問（会話問題）</p> <p>本設問は、日常的な場面を想定した短い会話文を通して、文脈理解に基づく適切な判断力を評価することを目的としている。文法的妥当性および意味的整合性に加え、応答として適切な語句・表現を選択する能力を測定対象とした。</p> <p>第4問（長文読解）</p> <p>本設問は、健康や生活に関連する社会的話題を扱った英文を題材として、文章の内容理解および情報把握能力を評価することを目的としている。語彙補充問題および内容一致問題を通して、読解力、思考力、および判断力を総合的に測定した。</p> <p>第5問（英作文）</p> <p>本設問は、自身の考えや学習行動について英語で適切に表現する</p>

	<p>能力を評価することを目的としている。内容の妥当性および表現の適切性を測定対象とした。</p>
--	---